

近畿税政連

令和5年(2023年)

1月10日

第262号

発行所 近畿税理士政治連盟

発行人 久保直己 / 編集人 矢田善久

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050

URL <http://kinzeisei.jp/> e-mail info@kinzeisei.jp



護王神社の絵馬 (京都市上京区)

撮影：矢田 善久 (上京支部)

- 新春対談 (高市早苗 経済安全保障担当大臣・久保直己 近税政会長)…………… 3
- 第8回川柳・書道コンテスト入賞作品 ……………12



「税政連のしおり」をご存じでしょうか？主に新規登録者を対象とした税政連のガイドブックとして日税政が発行している冊子である。昨年、税理士法が改正されたことを受け、最新の内容にするために現在、日税政広報委員会

で改訂中であり、5月にはお手元に届く予定であるので、ぜひご一読をいただきたい。しおりでは「なぜ税政連が必要か」から始まり、税政連の存在意義や組織、過去の経緯、その活動の成果等について分かりやすく解説されている。その中でも触れられているが、税政連の最も重要な活動は、税理士会の要望の実現に向けて、政党や国会議員に対して強力な働きかけをおこなうことである。ただ、一方

税政連活動の軸

的な陳情や選挙時だけの応援ではその効果に限界がある。そこで税政連活動の軸として、税理士の自主的な組織としての「税理士による後援会」を設立し、国会議員等への日常的な接触活動をおこなうと共に会員の政治意識の高揚を図っている。他の自由職業団体でも、政治連盟を結成はしていても「後援会」を持つまでは至っておらず、わが業界独自のものであり、国会議員からも高く評価されている。この後援会活動により、議員に密着した息の長い政治活動が可能となり、効果的な陳情が実施できている。税=政治とよく言われる。税理士が税の専門家である以上、少なくとも税制に関わる政治問題は避けて通ることはできず、われわれには政治に関心を持つ必然性があるのである。(副幹事長 矢田善久)



新年あけましておめでとうございます。

会員先生、ご家族の皆様には健やかに輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

皆様には、変わらず物心ともに温かいご理解とご支援を賜り、税政連活動に一定の成果を見ることができましたこと、厚くお礼と感謝を申し上げます。



久保直己 会長

令和 5 年の税理士試験は新制度で

昨年の税理士法改正により、会計学科目の受験資格要件が撤廃され、まずは簿記論、財務諸表論から税理士という国家資格にチャレンジできることになり、この制度の見直しは、若い世代に税理士制度を知るきっかけとなればと願う次第です。

近畿税理士政治連盟は、税理士法に関する改正項目の実現に向けて、税理士による国会議員等後援会と力を合わせて活動を進めてまいりました。

今までの税理士法改正は15年スパンでの改正でありましたが今回は 8 年と短く、今後も短期間で改正が見込まれます。与野党の税理士制度改革議員連盟と連携して、次回の改正に備えてまいりたいと思います。

統一地方選挙

本年は 4 年に一度の統一地方選挙、政令指定都市では 4 月 9 日投開票、政令指定都市以外は 4 月 23 日投開票と見込まれております。その情勢が次の国政選挙に大きな影響を与えると言われており、その動向に注視して参りたいと思います。

税理士制度発展募金

昨年10月から財政基盤強化のために新たにスタートいたしました税理士制度発展募金には、多くの先生方から暖かいご支援を賜り、心より厚く感謝を申しあげる次第です。

私は、税理士証票を確認しますと昭和60年 3 月 26 日に登録が完了し、晴れて税理士となった記念日であります。私の税理士記念日に税理士制度の発展を願い、今後は募金を続けたいと思っております。

輝かしい未来のために、そして税理士制度と申告納税制度の発展のため、執行部一同いただいた貴重な財源を活かす努力をしております。

会員各位には変わらぬご理解と絶大なるご支援をお願いし、あわせて税政連活動、後援会への積極的なご参加を重ねてお願い申し上げます。

皆様にとって今年も最良の年でありますよう祈念申しあげ、ごあいさついたします。



焦点	1	後援会からのメッセージ	11
年頭のことば	2	第 8 回川柳・書道コンテスト入賞作品	12
新春対談	3	和歌山県知事選挙結果	14
後援会ニュース	8	かんさいすずめ	15
第 8 回川柳・書道コンテスト		銀河系	15
表彰式・懇親会開催	10		



高市早苗 経済安全保障担当大臣
科学技術政策担当大臣

久保直己 近畿税理士政治連盟会長

(司会) 皆さん、新年明けましておめでとうございます。ただ今より、高市早苗経済安全保障担当大臣と久保直己近税政会長によります令和5年新春対談を始めさせていただきます。

【税理士による後援会】

(司会) まずは対談に先立ちまして、景山良一奈良県支部連会長に高市早苗議員と後援会についてのご紹介をお願いいたします。

(景山) 武野勝文後援会会長の代理で出席させていただきます。皆さん、よくご存じの通り、高市議員は、奈良県2区選出の衆議院議員で、一昨年の自民党総裁選にも立候補されました。非常に行動的な方で、昨年10月には若手時代から22年も大切に乗り続けられた愛車1991年式トヨタさなえスーブラのレストアが完了し、大臣自らが運転されたことが報道されました。現職の大臣が自ら運転することは異例中の異例で、ご本人はよっぽど嬉しかったのでしょうか。

我々税理士による後援会は、平成11年1月の設立で、現在118名の会員数です。毎年、国政報告会と定期大会を実施しています。後援会の特

徴は、会員の家族や知人も参加できることで、定期大会後の懇親会は、例年焼肉パーティーで会員の先生方には好評です。

後援会では選挙応援のために、先生のロゴ入りリストバンドや靴下を作成しています。靴下は先生にも選挙のたびに履いていただき、縁起が良いと喜んでいただいております。

今後はさらに応援の輪を広げるべく、もっと若手の会員に高市先生のファンになっていただきたいと考えております。

【今年のお正月】

(司会) ありがとうございます。それでは高市大臣、今年はどのようなお正月を過ごされたのでしょうか。地元奈良には帰られましたか。

(高市) 新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。そして、新年早々に内閣府の大臣室までおいでいただきました先生方に感謝を申し上げます。

お正月ですが、元旦の朝に皇居に新年のごあいさつにあがった後は、議員宿舎にたまった政務書類の処理と締切が迫った月刊誌の原稿執筆



高市早苗 経済安全保障担当大臣

をして過ごしました。平素の土日や祝日は、ほとんど地方出張で埋まってしまうので、三が日はじっくりと仕事のできた貴重な時間でした。

(司会) ありがとうございます。それでは、久保会長はどのようなお正月でしたか。

(久保) 今年も地元の日吉大社に参拝させていただきました。推薦議員のご活躍を祈念申し上げますとともに、インボイス導入の年でありますので、無事にスタートできるよう神頼みして参りました。

(司会) 高市先生、今年の抱負などもお聞かせください。

(高市) 今年の抱負の一つは、5月に仙台市で開催される「G7 科学技術大臣会合」の議長として、会合を成功させることです。昨今の科学技術は、民生にも国防にも使えるデュアルユースの要素が多いですから、G7をはじめとする友好国・同志国とは重要情報を守りあいながら先端技術分野で共同研究を進めていける環境を整備したいと考えています。

(久保) 昨年秋、コロナの制限がやっと解除されたのを期に、仙台観光に行ってきました。仙台市は東北の大都市であり、風光明媚な松島、青葉城と見どころがたくさんあり、そのようなところで開催されるG7、大きな成果をあげられることをご期待申し上げたいと思います。

【政治家としての志・理念】

(司会) 高市議員は自民党及び政府において政

務調査会長、総務大臣等要職を歴任され、現在は経済安全保障担当大臣としてご活躍されています。今後ますます自民党および政府において重責を担っていかれることと存じますが、先生の政治家としての志や理念、また座右の銘や好きな言葉などございましたらお聞かせください。

(高市) 私は、常々、国の究極の使命は、国民の皆様の生命と財産を守り抜くこと、領土・領空・領海・資源を守り抜くこと、国家の主権と名誉を守り抜くことだと申し上げてまいりました。その使命を果たすために、自分の全てを懸けて働いてまいります。

今の立場でしたら、日本や世界が直面するリスクを最小化するために必要な技術開発を促進し、海外にも展開することによって成長に繋げる取り組みをおこないたいですね。例えば、厳しい気候にも耐え得る農林水産技術や土木・建築技術、デジタル化の中で電力消費が急増していきますのでデバイスやネットワークの省電力化技術、サイバー攻撃から重要インフラを防御する技術などが必要だと思います。

座右の銘は、「高い志・広い眼・深い心」です。好きな言葉は、「崇高雄渾(すうこうゆうこん)」です。「崇高」とは、気高く偉大なこと。「雄渾」とは、雄大で勢いのよいこと、力強くよどみのないことです。安岡正篤先生が、「崇高雄渾なる王道の原理が、政治や国家の根本」と説いておられましたが、私は、公のために仕事をする政治家が持つべき志の在り様だと考えています。

(久保) 税理士の使命は、税務に関する専門家として、独立した公正な立場において、申告納税制度の理念にそって、納税義務者の信頼にこたえ、租税に関する法令に規定された納税義務の実現を図るとしてしています。

租税に関しては崇高な使命をいただいておりますが、高市大臣の使命を只今お聞きして、国家の名誉まで守り抜く強い決意を感じました。

【大臣としての日常・取り組み】

(司会) 昨年 8 月に発足した第 2 次岸田改造内

閣において経済安全保障担当大臣に就任され、国民の期待も高くなっています。経済安全保障担当大臣としての日常や取組み、先生の職務に対するスタンスや日常の面白い話題、苦労話などございましたらお聞かせください。

(高市) 担務が幅広いので、常に緊張感を持っています。私は、経済安全保障、科学技術政策、宇宙政策、知的財産戦略、健康・医療戦略、重要土地調査、特定秘密、遺棄化学兵器を担当しています。

総務大臣在任時は、自分の決断を職員に伝えるだけで、新しい施策を作り、特別地方交付税や起債による財源措置まで対応できましたが、現在は、内閣府の長である岸田総理のご了解を賜ったうえで各省大臣と調整することになりますから、もどかしさは感じます。でも、いずれの担務も日本の未来を拓くために重要な分野ですから、がんばりますよ。

悩みは、マスクにきび…と言うより、私の年齢だと吹き出物ですかね。顔にブツブツが増えた上、一昨年の衆院選と昨年の参院選では自民党政調会長としてハードな全国遊説をしていましたから日焼けでシミも増えてしまい、マスクを外してのテレビ出演や講演が憂鬱になったことです。飛行機や新幹線の中で、同乗のお客様がコッソリとスマホで私の写真を撮っておられることもあるのですが、そういう時に限って水を飲もうとしてマスクを外してしまっていたりするので、悲しいです。

(久保) 無断でスマホ写真を撮らないでと言いたいですね。でも、言えないのが議員の宿命かもしれません。国会中継では、予算委員会でも岸田首相の隣の指定席におられますが、中継のテレビカメラでいつも撮られているのでくびもできないのは大変だろうなと思っております。

余談から戻りますが、総務大臣をされているときには、日税連の神津会長達と幾度となく陳情でお邪魔しまして、改めてお礼を申し上げます。



久保直己 近畿税理士政治連盟会長

【セキュリティ・クリアランス】

(司会) 昨年、テレビなどでニュースになっておりました「セキュリティ・クリアランス(適格性評価)」の制度化について、今後議論を深めていくことと存じますが、その重要性・必要性等について、先生のお考えをお聞かせください。

(高市) 日本の企業などが同志国と共同研究をおこなう場合や、外国の政府調達に参加したり外国企業との取引をおこなったりする場合に、担当者が先方から求められる「セキュリティ・クリアランス」や「バックグラウンド・チェック」について研究を進め、何としても日本でも法制度整備をおこなわなければならないと考えています。

(久保) 昨年、大臣が「セキュリティ・クリアランス」について、先進国ではすでに法制化されているのに、日本の現状を熱く述べておられるのを拝見しました。世界の常識が日本では審議すら進んでいないと感じました。私たち税理士は守秘義務が基本中の基本であり、このことについて大きな関心を持つべきだと思います。

【今後の活動について】

(司会) 先の総裁選では、高市議員は他の候補者より目立った存在であったと思いますが、その後の衆議院議員総選挙においても全国を応援に回られ、大いに活躍されました。今後の活動の在り方についてお聞かせください。

(高市) 総裁選の結果が全てです。力不足で及



高市早苗大臣(右)と景山良一奈良県支部連会長(左)びませんでした。敗者としては、岸田総理を全力でお支えして、安定政権にすることが務めだと考えています。

他方、国民のみなさまの代表たる国会議員として、政策は磨き続けなければなりませんから、大臣としての担務とは別の分野についても、同僚議員と一緒に勉強会を続けています。

(久保) 先ほど、使命の事をお話いただきましたが、総裁選においても高市先生の国家観を感じ取れたと思います。その時が来れば、是非とも国の舵取りをしていただきたいと思います。

【税制改正】

(田) 税理士会には、建議権が認められており、中小企業の実態を身近で知る税務の専門家の立場から毎年税制改正に関する建議をおこなっています。本年10月にはインボイス制度が導入されます。これからは実務の現場での問題点を一つ一つ拾い上げていくことが必要と考えます。先生のお考えをお聞かせ下さい。

(高市) インボイス制度につきましては、関係省庁において、事業者の方々や税理士の先生方の声にしっかり耳を傾けながら、制度の円滑な移行に向けて取り組んでいくものと承知しています。

税務のみならず、経営全般について、中小企業を常日頃サポートいただいている税理士の先生方におかれましては、税務行政や税法に関する課題などを把握された場合には、建議権に基づき建議いただきますよう、お願いいたします。

(久保) そもそもインボイス制度については建議書において反対しておりましたが、残念ながら本年実施されることになり、スムーズな導入に配慮するとともに、問題点となる事項を要望しております。

零細である免税事業者が課税事業者を選択しなければならない。免税制度に反する行動はできるだけ避けたいと願うところであります。

【税理士のあるべき姿】

(久保) 税理士会では、経済社会の構造変化に対応して税理士の業務を進化させ、将来にわたって国民からより一層信頼される税理士制度を確立するために、今後、われわれ税理士および税理士業界はどうあるべきかなど、ご意見を頂戴できますでしょうか。

(高市) ご案内のとおり、昨年の通常国会において税理士法が改正されました。この法改正は、コロナ後の新しい社会を見据えて、税理士の先生方の業務環境や納税環境の電子化といった状況の変化に的確に対応するとともに、多様な人材の確保や、国民・納税者の皆様の税理士に対する信頼と納税者利便の向上を図る観点からおこなわれたものです。

納税者の皆様や中小企業の方々のパートナーである税理士の先生方におかれましては、引き続き、新しい時代の先頭に立って電子化などの対応にご尽力いただきたいと思いますと考えております。

(久保) 貴重なご意見ありがとうございます



左から、矢田善久広報委員長、景山良一奈良県支部連会長、高市早苗大臣、久保直己会長、田達満幹事長

た。

【税理士へのメッセージ】

(司会) 最後に、近畿会約15,000名の税理士へのメッセージをぜひ賜りますようお願い申し上げます。

(高市) 久保会長をはじめ近畿税理士政治連盟の先生方には、いつも政策面で様々なご指導を賜り、政治活動へのお力添えも賜り、誠に有難うございます。また、先生方におかれましては、長引くコロナ禍で困難に直面しておられる事業者の方々に寄り添いつつ、地域経済を支えるために多大なるご尽力を賜っておりますことに、心より敬意を表します。

昨年来、人への投資を積極化させるための施策、下請け取引の適正化など、あらゆる施策を総動員して企業の賃上げを支援していくこととしています。事業者の方々が各種税制を活用される場合には、先生方のご助力を賜りたく存じます。先生方のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げております。

(司会) 高市先生におかれましては、政務ご多用中にも関わらず、新春対談にご臨席賜りまして厚くお礼申し上げます。

語りつくせないところもあったかと存じますが、高市先生の今後のさらなるご活躍を祈念申し上げまして新春対談を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(司会 矢田善久 広報委員長)



左から、田達満幹事長、久保直己会長、高市早苗大臣、景山良一奈良県支部連会長、矢田善久広報委員長

高市早苗

経済安全保障担当大臣 略歴 (衆議院・奈良2区・自民党)

- 1961年(昭和36年)3月7日生まれ
- 奈良県立畝傍高校卒業
- 神戸大学経営学部経営学科卒業(経営数学専攻)
- (財)松下政経塾卒業
- 米国連邦議会Congressional Fellow
- 近畿大学経済学部教授(産業政策論・中小企業論)

【内閣 役職歴】

- 通商産業政務次官
- 経済産業副大臣(3回任命)
- 内閣府特命担当大臣(3回任命)
- 総務大臣(5回任命:史上最長在職期間を記録)

【国会 主要役職歴】

- 衆議院 文部科学委員長
- 衆議院 憲法調査会小委員長
- 衆議院 議院運営委員長

【自由民主党 主要役職歴】

- 政務調査会長(3期)
- 経済安全保障対策本部長
- 日本経済再生本部長
- サイバーセキュリティ対策本部長(3期)

【現職】

- 衆議院議員(9期)
- 経済安全保障担当大臣
内閣府特命担当大臣(科学技術政策、宇宙政策、知的財産戦略 他)
- 自由民主党 奈良県支部連合会 会長
- 自由民主党 奈良県第2選挙区支部 支部長

【著書・編著書】

- 「アズ・ア・タックスペイヤー」(祥伝社)
- 「アメリカ大統領の権力のすべて」(KKベストセラーズ)
- 「サイバー攻撃から暮らしを守れ!」(PHP研究所)
- 「美しく、強く、成長する国へ。私の「日本経済強靱化計画」」(ワック株式会社)
- 「ハト派の嘘」(*共著・産経新聞出版)他

後援会ニュース

西田昌司後援会

税理士による西田昌司後援会の第16回定期総会が9月22日、からすま京都ホテルにて開催された。来賓として、西田昌司参議院議員、近税政より久保直己会長、田達満幹事長、近税政京都府支部連より木村敏之会長が出席した。



中江嘉和会長のあいさつにより開会され、すべての議案が可決承認された。その中で役員改選がおこなわれ、富村将之会長、福島重典幹事長が新しく就任した。

次に西田議員による国政報告があった。

「新型コロナウイルス感染症が蔓延した際に営業を自粛し、社会的な交流を自粛してもらい、感染防止をお願いするということを政府はおこなった。それとセットで営業補償をおこなうべきであるが、その営業補償の金額を算定することが難しい。よってまずお金を借りていただく、いわゆるゼロゼロ融資をおこなった。そのときに当時の岸田政調会長に言ったのは、まずはゼロゼロ融資で倒産を防止することが必要であるが、感染症が終息した後、経済が正常に戻った際には、営業補償をしないといけない。具体的には、確定申告書から繰越損失の金額とコロナ融資額の小さい金額を減免額にすれば、不正受給も防げ、スムーズにできることを提案している。これは参議院議員通常選挙前からずっとっており、選挙公約にも掲げられているが、これから議論していきたい」(下京支部 宮本照義)

こやり隆史後援会 臨時総会・国政報告会

10月1日、ホテルポストンプラザ草津びわ湖にて臨時総会・国政報告会が開催された。来賓には小鍬隆史参議院議員、大岡敏孝衆議院議員、近税政久保直己会長、滋賀県支部連織戸英信会長、滋賀県下各後援会会長・幹事長が出席した。



国政報告会に先立ち、金子紀行会長の辞任及び新会長選任の臨時総会が開かれた。新会長には和澤清隆会員が満場一致をもって就任した。和澤新会長は就任あいさつで、金子会長が平成28年の後援会設立以来現在まで、近畿で第2番目の会員数を擁するまで育ててこられた後援会を引き継ぐことに重責を感じるとともに、これからもその基盤を盤石なものとし、より一層活発な後援会活動にしたいとの抱負を述べられ、会員の皆様からのご支援をお願いしたいとの言葉があった。

続いて、久保会長からあいさつがあり、金子前会長の後援会設立以来6年にも及ぶ活動に対して感謝の言葉を述べられるとともにこれまで築いてこられた功績を称え、和澤新会長へますますの期待と応援を込めた言葉が述べられた。

引き続き、小鍬議員による国政報告会が開催され、過日の参議院議員選挙において圧倒的な得票数で当選したことにお礼の言葉があった。

その後、懇親会が開催され、大岡議員よりあいさつがあり、親しく歓談がおこなわれ、盛会のうちに散会となった。(草津支部 吉川孝二)

伊藤たかえ後援会

開催日 令和4年10月14日
 場 所 ザ マーカススクエア神戸
 来 賓 伊藤たかえ 参議院議員
 伊田 憲司 近税政副会長
 蝉川 寛嗣 兵庫県第一支部連会長
 藤本 晃 兵庫県第二支部連会長
 北岡 昭 兵庫県第四支部連会長



越智信介副幹事長の司会、開会宣言のあと、樽井博会長のあいさつがあった。議長に宮本典子副会長が選出され、上程された議案は全て可決承認され、新たに垣見芳正会長が就任した。垣見会長より、女性が活躍する後援会活動をおこなっていききたいとのあいさつがあった。

来賓の伊田近税政副会長からは、伊藤議員の文部大臣政務官への就任のお祝いと、租税教育の発展に尽力を、とのあいさつがあった。

続いて伊藤議員より、7月におこなわれた選挙支援のお礼が述べられ、8月に就任した文部大臣政務官としての任務や日常、国立競技場にて運動会をおこなった学校をはじめ、先進的な取り組みをおこなう教育現場を視察した報告がなされた。最後に税理士の声に耳を傾けて、税制改正要望、特に消費税インボイス制度への対策に取り組んでいきたいとのあいさつがあった。

最後に堀信博副会長による閉会のあいさつにより、定期総会は終了した。

引き続きコロナ対策をおこなったうえで、懇親会がおこなわれ、和やかな雰囲気のもと散会した。
 (芦屋支部 吉田智代)

勝目やすし後援会 国政報告会

11月19日、ハートピア京都で、勝目やすし後援会国政報告会が開催された。司会の岡田悠克幹事による来賓を紹介の後、鹿野幸裕会長が、勝目議員は昨年10月の衆議院選挙にて初当選され、早速後援会を設立した旨、勝目やすし議員のご活躍を紹介し、本日の国政報告会を迎えたとあいさつした。



勝目やすし議員の国政報告では、最初に、税理士による後援会をいち早く設立していただいたことについて感謝を述べられた。ロシアによるウクライナ侵攻問題や中国問題について感想を述べられた。また、安倍元総理の銃撃事件では非常に残念だと強調、もっと日本国のためにご尽力いただける方だったと話された。来週から補正予算の集中審議がおこなわれ、なるべく早くにまとめる必要がある。また旧統一教会問題も審議され早急に法整備する必要がある。この他、EV車や地方税の外形標準課税問題、教育資金の1500万円贈与についても意見を述べられた。続いて、原綱宗近税政副会長から来賓のあいさつがあり、引き続き質問コーナーとなった。勝目議員は無派閥と聞いているが、との質問で、1期生議員はいろいろな意見が聞けるので派閥に入らない、伊吹文明先生も2・3期は派閥に属されてない。また、10増10減法案についての質問では、将来的に京都も影響する可能性がある。他に円安や日本のGDPについても質問があった。最後に北尾剛久副会長のお礼の言葉をもって閉会となった。
 (後援会寄稿)

前原誠司後援会

開催日 令和 4 年 11 月 19 日

場 所 ホテルオークラ京都

来 賓 前原 誠司 衆議院議員

久保 直己 近税政会長

中谷 隆夫 支部連副会長

佐々木高明幹事長の司会のもと、開会宣言があり、吉澤俊二会長より後援会活動へのお礼と税政連のよき理解者である前原議員をこれから



も全力で応援していくとのあいさつがあった。

総会議案では活動報告、収支報告、役員体制が審議され、全ての議案が可決承認された。久保近税政会長のあいさつの後、前原議員より国政報告がおこなわれた。外交・安全保障面では、わが国は「専守防衛」を基本方針に掲げている中で、有事の際の自衛隊の継戦能力の確保、反撃能力の問題、そして他国からのサイバー攻撃などハイブリッド戦争に対応していかなければならないことが述べられた。経済面では、インボイス制度における小規模事業者の負担の軽減、事業再構築補助金等の予算措置、さらには資金繰り支援に対して、今後も税の専門家である税理士の意見を聞き、税理士会の建議書にしっかりと取り組ませていただくと述べた。

懇親会では前原議員は各テーブルを回り、終始和やかに親しく意見交換をおこない、北村光一郎新会長の閉会あいさつをもって盛会のうちに散会となった。(大津支部 小川宗彦)

第8回川柳・書道コンテスト表彰式・懇親会開催

令和 4 年 9 月 15 日、大阪キャッスルホテルにて『第 8 回川柳・書道コンテスト』の表彰式及び懇親会が開催された。当日は、それぞれの部門の受賞者と主催者側の役員、そして外部審査員が参加しておこなわれた。

コンテストにおける応募点数は総数 65 点（内訳：川柳 19 点、書道テーマ部門 28 点、書道自由部門 2 点、書道硬筆部門 16 点）であった。そこから厳選なる審査を経て、最優秀会長賞・優秀賞などが選ばれた。会場内では第 56 回定期大会時と同様に、表装された書道の受賞作品が掛けられ、また川柳の受賞作品も公表された。

はじめに久保直己会長が主催者を代表してあいさつした後、外部審査員である書道家の丸橋正光先生（書道）が紹介された。引き続いて、久保会長から受賞者に対して賞状と記念品が授与された。表彰式の後、審査員の先生から作品に対する講評が一点ずつおこなわれた。





昼食を取りながらの懇親会では、受賞者一人ずつ登壇し、応募動機や経緯そして応募作品への想いを述べた。受賞者のエピソードを聞いて出席者は和やかな雰囲気にも包まれた。

コロナ禍の中、応募作品数が少なかったが、3 年振りに開催されたコンテストで、近畿税理士政治連盟の活動内容を改めて周知する機会となった。最後に、後安副会長のあいさつにより閉会となった。

後援会からのメッセージ Vol.11

(順不同・敬称略)

議 員 名	山口 壯 <small>やまぐち つよし</small>		議 員 名	大串 正樹 <small>おおぐし まさき</small>	
党 名	自由民主党		党 名	自由民主党	
衆 参	衆議院		衆 参	衆議院	
選 挙 区	兵庫12区		選 挙 区	兵庫6区	
当 選 回 数	7回		当 選 回 数	3回	
生 年 月 日	昭和29年10月3日	生 年 月 日	昭和41年1月20日		
学 歴	東京大学法学部卒業	学 歴	東北大学大学院工学研究科修了		
趣 味	テニス、スキー、音楽鑑賞	趣 味	絵画、多肉植物の鑑賞・栽培		
近畿税理士政治連盟会員へのメッセージ	<p>近畿税理士政治連盟の先生方には、日頃より心温まるご指導、ご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。</p> <p>先般、環境大臣を務めさせていただいた際にも、激励を賜り、しっかり頑張ることができました。本当にありがとうございます。</p> <p>これからの新しい時代を切り開くにあたり、税制改正等、先生方のお知恵をいただき、引き続き頑張ってお参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。</p> <p>税理士の先生方お一人おひとりのご健勝と益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。</p>	近畿税理士政治連盟会員へのメッセージ	<p>会員のみなさま、平素より中小企業のサポートを通じて地域経済をお支え頂き、心から感謝申し上げます。さらに、新型コロナウイルス感染症対策におきましては、さまざまな制度への対応にご尽力を賜りまして、改めてお礼申し上げます。コロナ後の社会も、依然として不透明な中で、実効性のある経済対策を継続しておこなっていく必要があります。よりきめ細かな対策が可能となるよう、引き続き税理士の先生方の現場からのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。</p>		
後援会会長から一言 議員の紹介等	<p>山口壯先生におかれましては環境大臣としてCOP26での活躍を頼もしく思う次第です。</p> <p>後援会といたしましては平成21年以来応援や税制に関する要望をおこなってまいりました。</p> <p>山口壯先生には税理士会にご理解賜り後援会といたしまして感謝申し上げます。</p> <p>(龍野支部 柴原恵一)</p>	後援会会長から一言 議員の紹介等	<p>後援会は平成30年の設立で、令和元年11月に党税制調査会幹事に就任されたこともあり、毎年の税制改正の要望・陳情に理解をいただいております。昨年の総選挙では後援会の力不足で比例復活の4期目当選、大串先生は党副幹事長から党国会対策副委員長へ、さらに総裁選挙後の第二次岸田改造内閣でデジタル副大臣兼内閣府副大臣に就任されました。我々後援会は大串先生の今後の活躍に期待し、全力で支援していく所存です。</p> <p>(伊丹支部 岡田彰徳)</p>		

第8回

川柳・書道コンテスト

受賞者

書道コンテスト テーマ部門 テーマ/近畿税政連・焦点

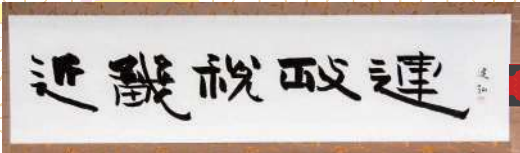


最優秀 会長賞

小倉 さやか

上京支部

※本号(262号)から「表紙」題字になりました。



入選

黒石 健弘

北支部

※本号(262号)から「焦点」題字になりました。



優秀賞

東 智之

上京支部



広報委員長特別賞

上村 洋文

豊能支部



幹事長特別賞

山下 肇

豊能支部

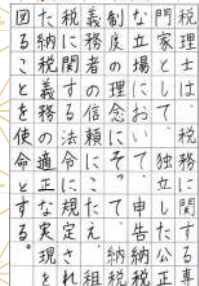


入選

大川 雅子

吹田支部

書道コンテスト 硬筆部門



最優秀 会長賞

今田 幸史

伊丹支部

優秀賞

眞鍋 光廣

住吉支部

入選

東 智之

上京支部

入選

額田 朋子

和歌山支部

川柳コンテスト

書道コンテスト 自由部門

インボイス

歓迎する声

ノーボイス

収納率

アクリル板より

高い壁

最優秀 会長賞

吉田 廣彰

葛城支部

優秀賞

小西 里枝

和歌山支部

最優秀 会長賞

黒石 健弘

北支部

ええやんか

税政連は

ええやんか

建議書は

みんなのために

国のため

入選

仕田原恒雄

住吉支部

入選

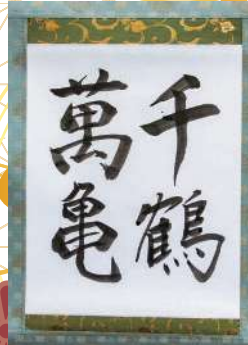
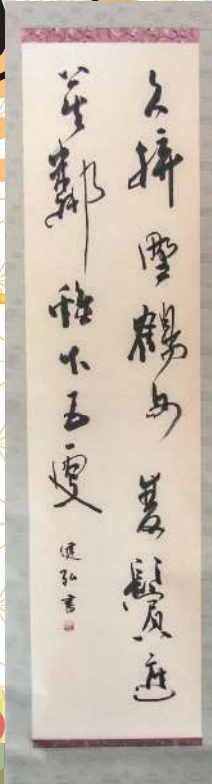
久保 直己

大津支部

入選

東 智之

上京支部



税理士制度発展募金 ご協力に感謝いたします

令和4年12月4日までに、以下の344人の会員先生方にご協力いただきました。厚く御礼申し上げます。

- 【東支部】** 相間 宏章
在本 茂
井川 淳志
池原 保三
泉 洋平
植木 心一
梅崎 道夫
大西 紀子
大西 英樹
加地 郁雄
加藤 正親
金井 博基
金子 秀哲
河嶋 達
北川 茂実
北田 全基
北村 哲郎
佐野 八朗
田村 守
中瀬 涉
藤田 義則
本田 善章
前田 正雄
松原 博吉
松本 常裕
三谷 智
森下巳代治
森下 芳一
矢本 博三
吉田 正樹
和田 勝弘
渡邊 清治
- 【西支部】** 河合 保憲
杉田 宗久
田中 洋子
田中 雄一郎
吉栖 照美
- 【港支部】** 井神 一也
西村 典雄
秦 雅彦
三浦 正人
- 【南支部】** 木原美津恵
笹田 淳
杉本 和裕
竹田 三徳
宮口耕一郎
室田 一榮
吉田 太三
- 【浪速支部】** 若林日出紀
天野 利彦
岩橋 一好
篠田 格
原 仁司
檜垣 典仁
南 順治
森 英雄
- 【北支部】** 勝部 秀人
川崎 哲之
木原 義和
小山 和人
茂木 大輔
柴崎 光徳
下山隆一郎
高田 秀子
瀧本龍太郎
玉城 祥啓
中瀬 進一
那須 弘敬
西川 榮治
後田 吉昭
堀 三芳
松本 圭一
森本 匡昭
矢野 文和
吉田 紀夫
- 【福島支部】** 今崎 民治
小泉 丹二
- 【大淀支部】** 井津井一弘
大久保明信
小山田 明
木下 尚一
木下 泰三
坂本 善哉
佐藤 裕之
野津香代子
福田 平司
前川 武政
松下 隆信
- 【南淀川支部】** 仲田むつみ
松島萬三孝
- 【東淀川支部】** 神谷 雅信
神吉 康史
永田 順久
- 【旭支部】** 赤澤 匡彦
旭 輝明
天野香鶴子
上田 初幸
上村 京勲
大久保一成
白木 雅夫
高田 裕久
見浪 一敏
- 【城東支部】** 河田 秀雄
小嶋 健生
- 【枚方支部】** 稲田 増光
海老原智子
杉 孝一
高木 康治
竹原 正和
橋本 光世
南井 恒治
- 【門真支部】** 菅原 正治
- 【天王寺支部】** 浅田 恒博
石原 健次
今井 基剛
上西左大信
内田 伸男
片山 雅博
田部 純一
中尾 隆彦
山田 雅成
山本 敬三
脇阪 説男
渡邊 昇
- 【生野支部】** 高永 文章
- 【東成支部】** 中山 寿光
- 【阿倍野支部】** 片山 功
片山 拓
粉河 秀雄
千村 高司
道野 充宏
- 【東住吉支部】** 岸村 次郎
杉本 庄吉
新居誠一郎
長谷川孝夫
- 【住吉支部】** 一瀬 守唯
- 瀬古 順子
田中 圭子
田 達満
橋本 良弘
真鍋 光廣
森本 勝志
藪内 重人
大和 司
- 【富田林支部】** 稲次 啓介
垣内 晃
段野 隆弘
辻本 勇
- 【東大阪支部】** 石田 嘉男
石津 良行
石橋 明史
今西 敦司
上田 吉昭
金田 光世
首藤 直樹
砂本 清
高岡 稔
中下 寛治
藤村 恭弘
山口 秀秋
吉田 信次
米満 信昌
- 【八尾支部】** 小林 昭一
杉井 卓男
渡邊 海翁
- 【堺支部】** 東 俊夫
安藤 治彦
池田 茂雄
大谷富太郎
菊之井秀年
下村 芳寛
高松 慶暢
竹内 芳彦
忠岡 博
中野 瑛文
土師 秀作
本田 浩基
- 【泉大津支部】** 藤原 一彦
山口 茂
- 【岸和田支部】** 蘆原 賢一
清原 正治
中川 恵子
- 森下ゆかり
- 【泉佐野支部】** 坂本 博文
田中 洋
香海 英治
根来 和夫
日根野谷精
昼馬 義宏
- 【茨木支部】** 神山 京子
仲 猛夫
並川 洋子
藤井 信行
宮口 太
- 【吹田支部】** 平山 直樹
前田 秀雄
- 【豊能支部】** 荒井 洋幸
衛藤 雄次
首藤 裕之
土橋 哲夫
平山 高明
光成 創
三原 健吾
和田 浩孝
- 【上京支部】** 大澤 哲夫
近藤 明夫
鹿野 幸裕
中島 宣夫
松村 一郎
室谷 澄男
矢田 善久
山中 基司
- 【中京支部】** 芦田 勝博
西村 猛
福島 重典
和田 泰裕
- 【下京支部】** 木村 敏之
杉本 諒
竹中 康豊
中村 英生
平瀬 聡
三方真理子
- 【右京支部】** 岡本 理博
中村 洋平
船越 善博
- 【左京支部】** 二股 茂
作見 藏市
中田 久弘
山崎 俊嗣
- 【伏見支部】** 市川 晃
山本 喜雄
- 【宇治支部】** 今井 宏明
大高 友紀
小泉 彰孝
小泉 孝一
平松 正孝
- 【福知山支部】** 衣川 憲治
中井 正紀
- 【宮津支部】** 山添 謙三
- 【舞鶴支部】** 上原 正夫
- 【神戸支部】** 相内 隆作
赤松 健二
沖村 朝之
樽井 博
中川 博之
永野 卓美
- 【灘支部】** 長谷川隆史
- 【須磨支部】** 旦 進
三木 裕人
- 【長田支部】** 高井 秀樹
福田 隆彦
- 【芦屋支部】** 垣見 芳正
武村 弘
藤原 克彦
森本 康正
山口 竜義
- 【明石支部】** 河合 正美
船造 幸雄
- 【加古川支部】** 尾崎佳世子
- 【西宮支部】** 浦濱 勇
宅和 明彦
永田 清行
前川 剛
- 山口 有一
横山 文彦
- 【尼崎支部】** 岩泉 周治
森川 幸敏
- 【伊丹支部】** 泉 和子
伊田 憲司
岡田 彰徳
林 文彦
- 【洲本支部】** 國武 智恵
- 【姫路支部】** 青木 真人
金川 弘
加納 寛
河本 勝英
坪田 昌彦
西垣 義弘
藤本 智宏
松岡 宸宏
山下 哲
幸 俊孝
- 【社支部】** 黒石 淳司
- 【相生支部】** 村山 実
- 【奈良支部】** 岩本 洋二
奥村 伸彦
景山 良一
岡司 節生
徳久亮太郎
中垣 安嗣
西口まゆり
- 【葛城支部】** 近藤 洋
杉垣 輝樹
田中 俊男
棚田 敏正
中川憲二郎
三谷 清重
森村 博史
山本 眞市
吉田 廣彰
- 【桜井支部】** 杉本 幸弘
戸川 好道
西岡 明
- 【和歌山支部】** 石倉 督斗
勝田 晃夫
- 木村 尚之
木村 雅彦
後安 宏彦
小西 里枝
額田 朋子
堀 博充
宮下 良一
山本 修司
- 【海南支部】** 中尾 彰
橋爪 康樹
- 【粉河支部】** 井村 徳治
花井 敏晋
宮井 計英
- 【御坊支部】** 植田 将史
川口 英信
佐竹 節夫
- 【田辺支部】** 溝端 昭雄
- 【大津支部】** 石原 英之
小倉 一訓
織戸 英信
金子 紀行
久保 直己
中西 知行
- 【今津支部】** 河原田新市
地村ちか子
地村 秀磨
丹治 健一
中澤賢二郎
- 【草津支部】** 田中 正志
眞神 農
増井 常夫
村井 正純
- 【水口支部】** 東 安宏
- 【近江八幡支部】** 大塚 浩司
山本 治三
- 【彦根支部】** 北川 実
北川 良治
三輪 和宏
- 【長浜支部】** 本城 善男

※随時募金を受付しております。振込方法など詳細につきましては、同封の別紙「税理士制度発展募金へのご協力をお願い」をご覧ください。

和歌山県知事選挙 推薦候補者が当選

任期満了に伴う和歌山県知事選挙が令和4年11月10日告示、同11月27日投開票により施行された。本部では、9月16日に第2回推薦審査会(書面審議)を開催し、和歌山県支部連より報告のあった前衆議院議員の岸本周平氏きしもとしゅうへいについて推薦を決定した。投開票の結果、岸本周平氏が当選を果たした。

SDGsとは?

最近、SDGsというアルファベット4文字をよく目にする。2015年9月の国連総会において全加盟国193の全てで合意した持続可能な開発目標で、2030年までに達成することを目指している。

目標を設定し、経済、社会、環境の問題に分け、17の大きな目標とそれらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。

大きな目標は、1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナリシップで目標を達成しようの17目標であり、169のターゲットには達成を目指す年や数値を含む、より具体的な到達点が描かれる。そして、だれ一人取り残されない持続可能な開発のために、我々の世界を変革すると述べる。

2020年初頭、中国武漢に端を発した新型コロナウイルスは瞬く間に世界に拡がり、2022年11月14日までの世界の感染者数は6億3516万人、死者数は661万人に及ぶ。このパンデミックは、SDGsの目標達成に甚大な影響を与える。政府、民間、市民社会組織等の個々人参加の再生戦略を立ててSDGsを達成し、その先の未来に繋げるのは、今を生きる私たちの責任であり、義務ではないだろうか。

(住吉支部 仕田原恒雄)



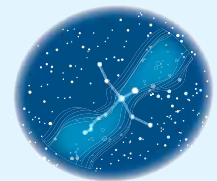
近税政本部のうごき

- 組織・国対合同委員会 (11月25日)
 - ・令和4年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・会員研修会の開催について (組織委員会)
 - ・税制改正要望について (国対委員会) 他
- 第2回財務委員会 (11月28日)
 - ・令和4年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・委員会の課題と対策及び今後の活動について 他
- 政策・後援会対策合同委員会 (11月30日)
 - ・令和4年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・近税政のしおりの改訂について (政策委員会)
 - ・後援会の状況について (後援会対策委員会) 他
- 第4回広報委員会 (12月2日)
 - ・令和4年度運動方針及び委員会活動方針について
 - ・機関紙第260号 (10月号) の批評
 - ・機関紙第261号 (11月号) の編集について
 - ・機関紙第262号の編集企画に関する件 他

「表紙」題字：第8回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 最優秀会長賞
(作=小倉さやか 上京支部)

「焦点」題字：第8回川柳・書道コンテスト
書道テーマ部門 優秀賞
(作=東智之 上京支部)

銀河系



今年の展望

昨年の出来事を振り返ると鉄道ファンの私にとって、鉄道開通150周年が一番、オリックスの日本一、藤井聡太の最年少4冠達成。W杯はドイツ、スペインに勝ってベスト16。海外では、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、習近平の3期目による独裁体制、北朝鮮のミサイル乱発。国内では、安倍元首相の銃撃事件と旧統一教会による岸田内閣の支持率の低下、米国のドル切上げによる、円安と食料品等の物価高、オミクロン株の第8波への懸念等々。

今年はプーチンがウクライナ侵攻をどう処理しようとしているのか、オミクロン株対応ワクチンにより、ウィズコロナの姿はどうか。税理士にとってインボイス制度の実施に伴い、免税事業者はどうか。藤井聡太は今年もタイトルを取るのか。岡田阪神は優勝するのか。ことしの予想は尽きない。(吹田支部 高木晴雄)

迎春



明けましておめでとうございませう。
本年も何卒よろしくお願ひ申し上げますとともに
組合員及び賛助会員の皆様のますますのご発展をお祈り申し上げます。

2023

大阪・奈良税理士協同組合

理事長 松本 圭一
副理事長 吉本 利夫 山村 典之 榊山 京子 永橋 利志 森田 務
専務理事 吉村 正浩 伏木 誠
常務理事 長谷川 孝夫 石谷 秀志 斎藤 良介 林 典男 根來 直代 佐藤 裕之 寺脇 淳司

〒540-0012 大阪市中央区谷町1-5-4 (近畿税理士会館11F) TEL (06) 6941-6888 / FAX (06) 6947-2800

<https://www.hanna-zeikyo.jp>